

欧州連合知的財産庁（EUIPO）、10月1日よりジョアン・ネグラン氏が新長官に就任

2023年7月25日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州連合知的財産庁（EUIPO）は、2023年7月25日、同日開催された欧州連合理事会において、ジョアン・ネグラン（João Negrão）氏が次期 EUIPO 長官（Executive Director）に任命され、10月1日より就任する予定である旨をニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリースによれば、ネグラン氏の主な経歴や実績は以下の通り。

- ・ ポルトガル国籍のネグラン氏は、ポルトガル産業財産権庁の国際関係部門や国際関係・イノベーション促進部門を経て、2010年に EUIPO の長官室長に就任した。
- ・ EUIPO では、2011年から2021年4月まで務めた国際協力法務部長として、各国・地域の知財庁との協力拡大を主導するとともに、欧州連合知的財産ネットワーク（EUIPN）を構築、本協力の枠組みにおいて、EUIPO は加盟国の国内官庁とともに TMview や DESIGNview などのシステムを開発した。また、EU レベルでの実務の調和を図るコンバージェンスプログラムの創設を主導した。
- ・ 2021年4月1日からは EUIPO の審判部長として、審判部で初となる行動計画（2021年～2025年）を発表し、品質重視の知的財産紛争解決機関として役割を強化するとともに、14の報告書の発効、裁判外紛争解決サービスの強化・拡大など、意思決定の生産性向上の点で目覚ましい成果を達成した。

これにより、欧州における地域知的財産関連官庁（EPO、EUIPO）の長官は、いずれもポルトガル国籍かつポルトガル産業財産権庁出身者が務めることとなる。

— EUIPO のニュースリリースは、以下参照 —

[João Negrão appointed new Executive Director of the EUIPO](#)

(以上)